

キャリア教育



中学校

高校

総合

プロフェッショナル 仕事の流儀  48分

サラリーマンは、スジを通せ ～鉄道ダイヤ作成・牛田貢平～

(2010年放送)

この番組の良さ



列車ダイヤは鉄道会社の看板

鉄道会社にとって最大の商品は列車ダイヤ（列車運行表）。第一に求められるのは、利用客の利便性であり、その複雑な列車ダイヤを作成するのが「スジ屋」と呼ばれる人々です。会社という組織の中で働くサラリーマンでありながら、非常に専門的な仕事であるといえます。番組では東京の地下鉄ダイヤを秒単位で操る凄腕の持ち主・牛田貢平氏の仕事ぶりが描かれています。

苦悩を乗り越えて

牛田氏は子どもの頃から大の電車好き。ただ好きだからという理由だけではなく、真剣に鉄道にかかわる仕事がしたいと思った理由を考えることで、子どもたちが職業について考えるきっかけになります。また、就職した後、サラリーマンならではの壁にぶち当たり、克服した様子は、組織の一員として第一に求められることを子どもたちが理解するのに役立ちます。

番組活用のポイント

スジは机で引くな、“現場”で引け

日本では列車がダイヤ通りに走るの当然のこととされています。牛田氏が担当した路線は、かつては事故などのトラブルがなくても朝のラッシュ時には5分以上の遅れが出て苦情が絶えなかった路線です。机上の計算ではダイヤ通り運行できるはずなのに毎日のように遅れてしまう。その原因を探るために牛田氏は現場に通いつめ、各駅、各列車ごとに到着時刻、出発時刻、混雑率などを克明に調べました。牛田氏が着目したのは停車時間。調べたデータをもとに、どの電車がどの駅でどれほどの停車時間が必要なのかを見極め、5秒単位で振り分けなおしました。この改正により遅れは半減し遅延の苦情も十分の一に減ったということです。机上の計算だけでは実情にあったものを作ることは難しいということを知ることが出来ます。

ダイヤの向こうに客を見る

スジ屋はダイヤ改正以外に大晦日の終夜運転などの1年に1度しかないような臨時ダイヤも作らなければなりません。乗務員のシフトや他社の車両乗り入れなどの制約の多い中、1日しか使われないダイヤであっても利用客の利便性をより向上させようとする牛田氏のプロ魂が伝わってきます。

転機となった上司の一言

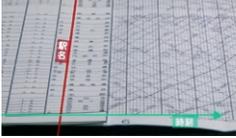
入社してから8年後、牛田氏は組織の中での自分の存在価値について疑問を持ち、転職を考えるようになります。その迷いを断ち切るきっかけになったのが当時の上司の意外な一言。その言葉から牛田氏はサラリーマンとして全うすべきことは何であるかということを探ります。人材を育てることが組織にとって非常に重要であるということが理解できます。

学習展開例

授業時間 100分 2単位時間目安

ダイヤの向こうに客を見る サラリーマンとは？



時間配分	学習活動	教師の支援
10分	①「サラリーマン」ということばに対して持っているイメージを発表する。	○出来るだけ多くの生徒に発言させ、内容を板書し、整理する。
15分	②番組を視聴し、牛田氏が属する会社の組織形態を考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スジ屋が作るのは列車運行表。縦に駅名、横に時刻。スジと呼ばれる斜めの線が列車の動きを表す。 ・鉄道会社は大組織。組織の一員として自分のなすべきことは…。(開始～5分19秒) </div> 	○この部分では「スジ屋」の仕事内容が伝えられているが、初めて聞く生徒も多いと考えられるので補足説明する。 ○1分18秒で一時停止し、語り手の言葉を板書する。「牛田は鉄道会社のヒラのサラリーマン。案を作っては上司に上げていく。」 ○板書内容をヒントとして会社組織の概要がイメージできるような問いかけをしていく。
25分	③続きを視聴し、牛田氏が大切にしている流儀について考える。  <ul style="list-style-type: none"> ・現場に出向き、電車の到着・出発時間、混雑率などを克明に記録する。(5分19秒～16分48秒) 	○視聴前にこの視聴部分内でキーワードが表示されることを予告しておく。 ○牛田氏のダイヤ作りは徹底した現場主義と利用客の生活を強く意識したものであることに気づかせる。
25分	④続きを視聴する。  <ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃からの夢だった運転士になるが、組織の中で無力感に打ちひしがれ…。(16分48秒～33分14秒) 	○牛田氏の職業選択の理由に着目させる。 ○サラリーマンとしての転職を迎えた後、牛田氏の生き方を定めることになったものは何なのかに着目させる。
15分	⑤続きを視聴する。  <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた役割を全うする。そのためにできることはすべてやる。 ・仕事の内容に妥協はない。組織の中でも自分を貫く。上司とぶつかることもある。(33分14秒～終わり) 	○「サラリーマンとして、スジを通す」とはどういうことなのかを考えさせる。 ○番組エンディングの牛田氏の言葉を板書する。「課題解決のために、今までの考え方に縛られず、その時最適な方法を生み出すことが出来る人。またそのための努力を怠らない人。こういった方をプロフェSSIONALと言うのだと思います。」
10分	⑥サラリーマンに対するイメージがどのように変わったかを発表する。	○プロ意識を持って仕事をすることの意義を考えさせる。